

Future of Adoption

フューチャーオブアドoption

保護犬・猫の譲渡活動支援サイト

里親マッチングサイト
Veterinary Adoption
アドoption

新しい出会いの形 動物病院からの譲渡

譲渡活動をもっと知りたい。
そして、伝えたい。



保護犬・猫の譲渡活動に取り組む動物病院。Veterinary Adoptionを活用しながら譲渡活動を行う動物病院へのインタビューを通して、里親探しの現状をお伝えしていきます。

Future of Adoption 最新情報 2014年11月25日現在

現在の登録数
保護犬

109頭

現在の登録数
保護猫

102頭

これまでの譲渡成立

447件

譲渡活動の現状

これまで里親探しを行っている動物病院では、院内でのポスター掲示やホームページなどで里親を募集し、保護犬・猫の幸せのために、空いた時間を利用して譲渡活動を行ってきました。

その中で、昨年より弊社では動物病院による保護犬・猫の譲渡活動支援サイト『Veterinary Adoption』を開設いたしました。今月でサイト立ち上げから1年が経過することから、実際に当サイトをご利用いただき、譲渡成立をされている全国の動物病院を対象に、このVeterinary Adoptionをご活用いただいた譲渡活動についてアンケートを行いました。



診療への影響はあるのか？

どの動物病院でも、診療への影響はほとんどないとのご意見でしたが、あまりに多くの子猫を預かる場合や、人工哺乳をする必要があるときなどは、少しではあります、診療へ影響を及ぼすこともあるようです。



譲渡が成立するまでの期間は？

多くの保護犬・猫が1～3ヶ月程度で譲渡成立となります。2日で成立してしまった事例もあれば、半年以上経っても里親が見つからないケースもあります。子犬・子猫はすぐに見つかるそうですが、成犬・成猫になるとなかなか見つからないケースが目立つようです。

里親に求められること。

動物病院によって里親に求めることは異なりますが、最低限の契約条項(ワクチン、避妊去勢手術など、予防関係の費用負担)を了承頂ければ、譲渡されています。その他には、保護犬・猫が暮らしていく環境(室内飼いなど)、先住動物との相性などが挙げられています。

譲渡活動がもたらす喜びと結果。

譲渡活動に取り組んだ結果として、保護犬・猫と新しい家族との出会いの実現、そして良い里親に巡り合い、動物たちの幸せな未来を想像できた瞬間が何よりの喜びだと先生方はおっしゃっています。時が経ち、里親さんから写真付きのメールを頂く機会も多いそうです。

今回、インタビューを実施させて頂いた動物病院では、実際に『Veterinary Adoption』をご利用頂いたことで、全国各地からのアプローチが増えて、譲渡成立に繋がったというお声も数多く頂いています。

その地域に暮らしている方にとって唯一相談できる動物病院が譲渡活動を積極的に行うことで、たくさんのお小さな命を救うという結果に繋がっています。今後も共立製薬は『Veterinary Adoption』を通じて動物病院の譲渡活動をサポートし、共に殺処分ゼロを目指して参ります。

今月の新しい家族紹介♪



上：いたこ 下：ゼム

初日の様子

ブッチャー君は『ゼム』、たか君は『いたこ』と改名して我が家に迎えました。

粗相も余分な爪とぎもせず、賢く良い子で過ごしています。賢すぎて、開けてはいけない各種の扉をどんどん攻略され、対応に振り回され続けていますが…。当初はものすごい目つきで隙間に篭り、食事もしてくれず心配しましたが、1週間経った今は、人が起きていても落ち着いた表情を見せててくれています。実は、11歳の時に両親を亡くして以来長らく一人での生活が続いている、家に帰って落ち着くという感覚が希薄でした。しかし2頭が来てからは、家に帰りたいと思ったり、気配にホッとしたり、機嫌に一喜一憂したり、毎日が幸せでいっぱいです。まだ手を出すと威嚇が飛んでくる2頭ですが、のんびりと慣れてもらえばと思います。

震災でいろいろと辛いこともあったと思いますが、生きていて良かった、うちに来て良かったと思ってもらえるように、幸せにしたいです。

H.K様